

## 高齢者施設 新型コロナ感染発生情報（令和4年2月14日）

埼玉県福祉部高齢者福祉課

新型コロナウイルス感染症の新規感染者はピークを迎える兆候がありますが、高齢者施設での感染発生は依然として歯止めがかからず、極めて厳しい状況が続いています。

### 【令和4年1月の県内高齢者施設での感染発生状況】

感染発生施設	陽性者数	内、利用者	内、職員	陽性者／施設
448施設	2,021人	1,108人	913人	4.5人

オミクロン株は感染スピードが速く、クラスターも多発しています。また病床ひっ迫のため重症者であっても入院調整が難航しており、施設内で療養を継続せざるを得ない状況が生じています。

### 【施設内療養時の医師の関与】

施設で療養する入所者をケアするためには、病状の診断、酸素や点滴の投与などのため医師の診察が不可欠となります。各施設におかれましては、感染発生時に備え、協力医療機関や嘱託医による診察や入院の受け入れなどの事前調整をぜひお願いします。

### 【感染発生時の早期対応】

施設内で感染者が発生し、他にも発熱者がいるなど、感染拡大が予見される場合には、早い段階でeMATを要請してください。初期対応に綻びがあり大規模なクラスターになると非常に困難になります。

eMATでは、一般的な研修とは違い、施設職員の方のお話を聞き、施設状況を確認しながら具体的にアドバイスします（別添、参考）。

## (別添) 特別養護老人ホームへのアドバイス例

### 1 ゾーニング

○イエローゾーンの設定は防護服を脱ぐ場所に限定しましょう。

×イエローゾーンが広すぎると、防護服を着たままの移動範囲が広がってしまいます。

### 2 入居者の部屋移動はどうしたらよいでしょうか？

○陽性者を陽性者用の部屋に集めることは可。

×無症状の濃厚接触者を集めることは不可。感染が広がってしまう可能性があります。

### 3 居室の換気

○10cm くらいでもよいので、入り口と窓などの2か所を開けておくと、空気が流れができてよいでしょう。

×寒い場合閉め切りにして、1時間に10分くらい窓を開けるのでは不十分です。

### 4 手袋の使用

○手袋は1枚で使用した方がよいです。

×手袋を2重にすると、手袋の消毒時に手袋のしわの部分に消毒液が十分すりこまれず、かえって危険です。

### 5 業務の優先順位

○クラスターになると、少ない職員で多くの業務をこなさざるを得ません。通常のケアを割り切って、頻度を減らせるものや簡易にできるものはないか、優先順位をつけて対応しましょう。

### 6 脱水防止

○経口補水液としては、吸収のよいOS1を推奨。おいしくなくて飲みにくいかもしれませんが1回に一口でもよいです。

×ポカリスエット類は糖質が多く含まれており吸収が悪いため注意。

○食事がとれない、おしっこがでない、皮膚がしわしわなどの脱水が疑われる場合には、積極的に医師に点滴の処方を相談しましょう。

### 7 酸素投与

○酸素飽和度が90台前半になってきたら積極的に医師に酸素濃縮器の活用を相談しましょう。